

# 令和元年度第1回菊池市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議録

日時 令和元年6月18日(火)13時30分～15時30分

場所 菊池市役所 2階 204会議室

(出席委員)

会 長 澤田 道夫  
委 員 村上 久美恵  
" 山下 和貴  
" 飯塚 暁子  
" 古川 俊博  
" 松岡 義清  
" 中原 恵  
" 松本 隆男

(代理出席)

商工会事務局長 松野 浩一  
観光協会事務局長 竹森 啓充

## 1. 開 会

## 2. 会長あいさつ

会議の公開および会議録の確認

会議は公開、記録は要点筆記とし、会長・副会長確認後にHP等で公開とすることを承認

## 3. 議 題

### (1) (1)『癒しの里きくち創生総合戦略』の評価・検証について

#### ①『癒しの里きくち創生総合戦略』の効果検証について

資料(平成30年度癒しの里きくち創生総合戦略効果検証報告書)にて事務局より説明

質疑

(委 員)	税収を高めることが課題である。そのために、交流人口の増加が必要であって、全体的なKPIの捉え方によってはそれなりにみえるが、宿泊数の減少は非常に大きな問題であり、税収増加へはつながっていない。交流人口の増加も含め検討が必要と思う。
(委 員)	菊池の魅力の一つとして民泊は大事なコンテンツになると思うが、民泊の件数は、何件あるのか。宿泊者は何人いるのか。
(事務局)	民泊については、ふるさと体験協議会の数値では、6件で年間100人程度。そのうち70人がインバウンド(外国人)。特にJICE(一般財団法人日本国際協力センター)の利用が多い。
(事務局)	交流人口を高めて滞在時間を延ばし、現地にお金を落とす仕組みが重要である。宿泊は日帰りに比べて滞在時間も長いため、推進する必

	<p>要がある。宿泊者数の減は、熊本地震の影響があったうえに、菊池溪谷が開いていなかったことが考えられるため、今回の数値だけでは評価しにくい部分がある。これからの対応としては、アウトドアを利用した観光についても検討している。</p>
(委員)	<p>ふるさと納税とインターネットショップ「まるごと市場」の数値がかなり下がっている。ふるさと納税については、利用目的が必要と思うが、どのように考えているか。</p>
(事務局)	<p>ふるさと納税については、今は市の事業全般的に使っている。市を応援していただける方に対して、具体的に利用目的を示していく必要はあると思うので、今後検討することとしている。</p>
(委員)	<p>利用目的を決めることについては、ぜひ、お願いしたい。</p>
(事務局)	<p>まるごと市場については、ここ数年売上が減少している。個人販売については、比較的単価が高いものがあまり売れないものの、菊芋など新たな特産物は増えてきている。東京・大阪など大都市の割合も多く、インターネットでの需要も増えてきており手応えを感じているので、今後もネットショップの推進を図る。</p>
(委員)	<p>移住されたときの決め手は何が大きかったのか。また、移住者の世帯構成はどうなっているのか。お試し住宅の家具や電化製品などの設備はどうなっているのか。</p>
(委員)	<p>移住前の職業と移住されてからの職業はどのようなものか。</p>
(委員)	<p>他の県内の自治体と比べて多いのか。</p>
(委員)	<p>これまでどのように推移してきたのか。どこのエリアから移住してきたのか。また、これからのアプローチの仕方をどう考えているのか。これから進めていくのに情報の提供だけでいいのか、このままの KPI でいいのか検討する必要があると思う。</p>
(事務局)	<p>まず、移住定住の施策によって移住されてきた方は、平成 27 年度は 3 世帯 10 人（県外 2（神奈川 2）、県内 1）、平成 28 年度は 12 世帯 30 人（県外 2、県内 10）、平成 29 年度は 11 世帯 26 人（県外 9、県内 2）、平成 30 年度は 19 世帯 45 人（県外 11、県内 8）となっている。移住先は泗水、旭志、菊池と、どの年もバラバラである。</p> <p>県内で、移住定住施策で移住された方は概ね 700 人である。他の自治体と比べると、菊池市の特徴は県外からが多い。</p> <p>平成 30 年度の 19 世帯 45 人の内訳は、単身世帯が 7 世帯 7 人。子育て世帯 9 世帯 32 人、シニア世帯 3 世帯 6 人。</p> <p>職業は把握していないが、去年移住された方や、移住者の交流会に参加して伺ったときには、企業に就職された方、就農、デザイナー、マッサージなどさまざまであった。</p> <p>アプローチの仕方については、県が関東圏や関西圏で相談会を行うときに合わせて PR を行うとともに、菊池での暮らし体験を県の補助をいただきながら行っている。今まで、農業関係の体験を中心にやってきたが、今後、それ以外についても検討はしている。</p> <p>KPI については、ご指摘いただいたとおり今後検討していきたい。</p>
(会長)	<p>どちらかというと、シニア世帯が多いと思っていたが、子育て世帯が多いのには驚いた。</p>

(事務局)	やはり菊池の魅力は自然環境で、ほどよい田舎がいいのかなと思う。それと、担当者の熱意も大きな要素である。
(会長)	市民側の受け入れ態勢、移住の受け入れ先の排他性はないのか。
(委員)	最初は馴染めなかったという意見も聞くが、後々は地域に馴染まれてきたようであった。最初はやはり、難しい面もあるようであった。
(事務局)	移住定住の窓口を通して来られた方は、はじめに区長の所に行くなど地域のことを知っていただいている。 お試し住宅の設備は、電化製品は備えている。布団は持参となるが、レンタルの紹介はしている。
(委員)	菊池地域の活性化につながるように、まちなかの改革（中心市街地活性化）を移住定住施策とセットで考えていただきたい。
(委員)	まるごと市場の売上げの推移はどうなっているのか。 売上げの構成比は、どのようになっているのか。 今後、どのように売上げを上げていくのか。目標はあるのか。
(委員)	農家の支援隊を募集しているがなかなかいない状況にある。シルバーも人がいない状況にあり、市とJAがタイアップしていく必要がある。
(事務局)	まるごと市場の売上げの推移は、平成26年度は4,673,000円、平成27年度は41,303,000円、平成28年度は140,608,000円、平成29年度は113,324,000円、平成30年度は71,370,000円となっている。 売上げの構成については、菊芋、メロン、米、加工品となっているが、その他は野菜類や雑穀類などで、メロン以外のフルーツも好評である。 売り上げ目標については、110,000,000円が損益の分岐点となる。 今後は、加工場ができたことによって、新たな加工品を作り売り上げアップを目指したい。 JAとのタイアップは必要であり、人手不足は非常に厳しい状況にある。新規就農にも市も力をいれているので、JAと連携して取り組んで行きたい。
(事務局)	農家支援隊については、予算を組んでいるが足並みがそろわず実施までには至っていない。今年度は、ソフトのほうで事業協力を進めている。
(委員)	サテライトオフィスでIT企業等の誘致に取り組んでいるとのことだが、現在の活動はどうなっているか。
(事務局)	サテライトオフィスに関しては、誘致はしているものの、現状としては厳しい。部屋が大きすぎるという声を聞いている。
(委員)	今年度から、産業支援サービスの補助金の対象が広がっている。人口減少市町村に菊池市も入るので対象となる。製造業の誘致には成功しているので、IT系の企業の誘致に向け県の企業立地課とも連携して、推進していただきたい。
(会長)	ファミリーサポートセンターの利用者数の推移について、依頼会員に対して協力会員が不足しているとあるが、昨年度は依頼したい人はいるが協力をしてくれる人が少なくて減となったのか。また、送迎支援とは何か。

(事務局)	<p>ファミリーサポートセンターについては、主に小学校までの子どもを預けたい人と預かる人（協力会員）を調整するサービス。H27の増は保育園の建替えによるもの。H30は協力会員が増えないからだけではなく、需要が無かったことによる減少。協力会員は減ってはいないが、なかなか増えない。依頼会員が協力会員になり得ることで、両方会員として登録を増やしている。また、自宅で預かるのではなく、子育て拠点で預かるなど負担軽減を行い協力会員の増を図っている。</p> <p>送迎支援とは、学校が終わって習い事の送迎や学童の迎えの送迎の支援のこと。</p>
(会長)	両方会員は、すごく良い取り組みだと思う。
(委員)	市内3高校魅力化について、具体的に何をしたのか。今後の取り組みはどのように考えているのか。
(事務局)	<p>全力会議として高校の校長、育英会、OB会、中学校の校長、保護者会の方々に集まっていただき、高校の魅力化をするために何をすればいいのかを検討している。その中で3校とも英語力を身につけてさせたいという意見があがったため、昨年度の2月からALT講師の導入を市で実施し、今年度も引き続き実施している。</p>
(事務局)	広報で各高校の情報を毎月発信している。
(会長)	あいのりタクシー、べんりカーの利用者が減少している。その対策として増便を行うこととしているが、費用を追加することで、目標値の達成は見込めるのか。どれぐらいの予想値になるのか。
(事務局)	あいのりタクシーについては、一日あたり3便から4便への増便を10月から実施する。走っていること自体が十分には知られていないため、情報発信等を行いながら、利用促進を促す。また、予約の仕方などについても見直しを行いたいと思う。
(会長)	増便の効果などを見定めたいと思う。
(委員)	移動販売車を第3セクターで運行しているが、4地域を1台で回っているため、週1度しか来ない移動販売車を待っている人たちがいる。買い物弱者対策として、市も協力していただきたい。
(会長)	移動販売などは、地域側の受け入れ態勢が重要で、地域で取りまとめを行うカウンターパート的な存在が重要といわれているが、菊池の場合はどうなっているか。
(委員)	区長さんを中心にお願いしている。
(会長)	自主防災組織の設置補助金については今年度限りとのことであるが、何をどれくらい補助しているのか。
(事務局)	一律10万円の補助をしている。防災関係の備品等の購入に使っていただく。当面の目標は90%としているが、未設置の行政区については説明会に行くなど設置を促している。
(会長)	熊本地震のあと、比較的スムーズに設置がされてきたが、未だ設置されていないところには、どういう問題があるのか。
(事務局)	小規模な行政区で、役割分担などを行うことが難しいとの意見があったので、ある程度まとめて設置する必要がある。

② 地方創生推進交付金事業・地方創生拠点整備交付金事業の効果検証について

(会 長)	泗水地区賑わい創出事業で整備しているが、K P Iである養生市場の売上げが下がっている。その理由は。
(委 員)	近年、近隣の夢大地（山鹿市）、道の駅植木（熊本市北区）、アンビー熊本（合志市）、弁天（合志市）などができあがったことにより、周囲の施設に顧客を取られた。 売上げアップのためには、公園の芝生化などもう少し整備する必要がある。
(委 員)	アグリサイエンス構想事業の中で、いろんな試作・検証がなされているが、JA とか横の連携はとってやっているのか。
(事務局)	H29 に事前調査を行っており、JA にヒアリングを行った。しかし、実証実験までには至っていない。
(会 長)	インキュベーション施設を増やしていくとのことだが、多数可能なのか。
(事務局)	本年度は 3 件合同の活動拠点としてインキュベーション施設を借り上げたもので、今後は、実証実験を行う農家等の施設をK P I の活動拠点としていく。
(委 員)	グローバルビレッジ構想事業で、K P I の人材育成プログラム参加者数があまりにも少ないと思うが、どういう意味なのか。
(事務局)	各セミナーの延べ参加者は 500 名以上いるが、ここでは IT 人材育成に従事できるレベルの研修に参加した人を指している。

(2) 意見交換

(委 員)	新たな道路計画が示されているが、道路は、様々な事業に関係してくると思うため、色々な箇所にアクセスする道路の整備も併せてお願いしたい。
(事務局)	道路整備マスタープランに沿って進めている。中九州自動車道路を活用したまちづくりにつなげるとの意見ではあるが、総合戦略に盛り込むかは協議が必要である。
(事務局)	新たな総合戦略については、今月中に国の基本方針が示される予定であるので、その内容に沿って検討したい。また、総合計画も現在進んでいるので、整合性を図って行きたい。
(会 長)	インフラの整備はどちらかというと総合計画で、それをベースとした雇用の創出等が総合戦略のようになると思う。インフラの整備も総合戦略を推進していく基礎になるので、市として統一的に進めていただきたいと思います。
(委 員)	菊池は、魅力はあるが発信ができていないといわれる。商工会、観光協会、行政をまとめた統一的なプロモーションを行うことが必要だと思う。菊池一族については今度専門部署ができたが、横串を通した部署を作っていただければと思う。

(事務局)	情報の発信の仕方については、もったいない部分がある。組織よりも現在のやり方を見直す必要があると思う。今年は、菊池一族を中心としたプロモーションを実施するが、今後も戦略的に情報発信効果等を行いながら、プロモーションを進めていく。
-------	---

#### 4. その他

今年度が、現在の計画の最終年度となっている。次期計画については今年度中に策定することとなっているので、年度内に最低でもあと2回は会議を開催させていただきたい。委員の任期は、令和2年3月31日までとなっている。

(会長)

他地域に比べて、菊池市は良くやっている。指標の数値は良い。詳細に検証したわけではないが、移住・定住など非常に良い数値が出ている。その他の数値も、他の自治体はかなり落ち込んでいる所もあるが、大きく落ち込んでいる数値があまり見られない。県内の自治体と比べても健闘している方だと思う。菊池にはポテンシャルがあるからだとは思いますが、次期計画をつくる中で、それを活かせるように“菊池のよさ”を議論させていただき、形にしていきたい。

#### 5. 閉会